令和6年度 山梨県高等学校新人大会サッカー競技(女子)要項

- 1. 主 旨:山梨県内高等学校女子サッカーの健全なる普及と発展を目的とする。
- 2. 期 日: 令和7年1月11日(土) ·18日(土) ·25日(土)
- 3. 会場:押原公園、日本航空高校、Yske-com シルクパーク
- 4.参加資格:(1) 高等学校の生徒で構成されたチームであること。チーム名はその学校名とする。 選手は他チームに二重登録されていないこと。部員不足に伴う複数校合同チームの 参加については県高体連が承認している場合は参加を認める。
 - (ア) 転校後6か月未満の者の参加を認めない。(外国人留学生もこれに準じる) ただし、一家転住等やむを得ない場合は、山梨県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りでない。
 - (イ) 転校を伴わなくても、高体連加盟以外のチームから高体連加盟チームへ移籍する場合は上記アに準ずるものとする。ただし、この規程イの適用は当該年度内に限るものとする。
 - (2) 参加選手は(公財)日本サッカー協会に登録された高校 1・2 年生選手であること。
 - (3) 外国人選手は5名まで登録でき、1試合に3名まで出場できる。
 - (4) 2006 年 (平成 18 年) 4月2日~2009 年 (平成 21 年) 4月1日に生まれた選手であること。<15歳~18歳 同一学年で2年連続出場することはできない>
 - (5) 試合会場に選手登録証(写真付)を持参しない選手は出場できない。【選手登録証とは、(公財)日本サッカー協会 Web 登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したものをさす】なお、追加登録業務は、該当試合前日まで可能とする。
- 5.競技方法:(1)トーナメント戦により試合時間は70分とし、ハーフタイムのインターバルは前半終了後10分間とする。
 - (2) 規定時間内に勝敗が決しない場合、20分の延長戦を行い、なお決しない場合はペナルティキック方式により勝敗を決定する。
- 6.競技規則:(1) 当該年度の(公財)日本サッカー協会競技規則による。(新ルール適用)
 - (2) 試合登録選手数:20名
 - (3) 交代できる数:5名(※再交代制度は適用しない)
 - (4) 交代回数の制限
 - ①選手交代は、後半の交代回数を3回までとする。 (1回に複数人を交代することは可能)
 - ②前半、ハーフタイム、延長戦に入る前のインターバルでの選手交代は、後半の交代 回数に含まれない。
 - ③試合中に使わなかった交代、また、残りの交代回数は延長戦に繰り越す。
 - (5) 脳振盪による交代
 - ①1試合において、各チームは最大1人の「脳振盪による交代」を使うことができる。
 - ②「脳振盪による交代」は、その前に何人の交代要員が使われているかにかかわらず、 行うことができる。
 - ③交代で退いた競技者が、脳振盪による交代で再び競技者になることはできない。
 - ④一方のチームが、「脳振盪による交代」を使用したならば、相手チームは、(脳振盪に限らず)いかなる理由であっても「追加の交代要員」を使うことができる。
 - (6) 交代要員の数:9名
 - (7) 戦術的指示はテクニカルエリア内からその都度ただ1名が伝えることができる。
 - (8) ベンチに入ることができる人数:15名(交代要員9名、役員6名)
 - (9) 本大会期間中、異なる試合で警告を2回受けた者は、次の1試合に出場できない。

- (10) 本大会において退場を命じられた選手は次の1試合に出場できず、それ以降の処置については本大会の規律委員会で決定する。
- (11) トーナメント戦とし3位決定戦も実施する。
- (12) 本大会試合球は、5号日本協会検定球とする。
- (13) 大会参加料を1月女子委員会にて納める。(金額は別途連絡) (グラウンド使用料・審判代に充てるため)
- (14) マッチコーディネーションミーティングはキックオフの 60 分前に大会本部において 実施する。チーム代表者は、正副ユニフォーム一式とメンバー表 4 部と選手証を持参 すること。

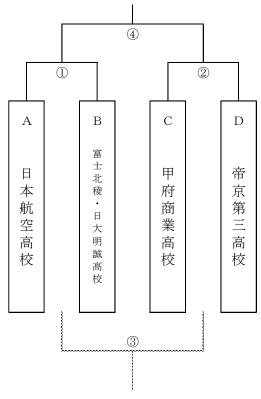
14:00 シルクパーク 勝者 2 チーム

7.ユニフォーム:(1)(公財)日本サッカー協会ユニフォーム規定による。

(2) 広告表示は認めない。

③ ①敗者 対 ②敗者

8.組み合わせ時間 会場審判・運営1月11日(土) ② 甲府商業 対 帝京第三10:00 押原公園A・B1月18日(土) ① 日本航空 対 富士北稜・日大明誠10:00 日本航空C・D1月25日(土) ④ ①勝者 対 ②勝者10:30 シルクパーク敗者 2 チーム



9.その他

- ・主審は有資格の成人または3級ユース審判とし審判着を着用する。副審および第四の審判は審判ライセンスを取得している生徒でも可とし、審判着を着用する。
- ・ 先発する選手は、キックオフ 7 分前に用具チェックのため大会本部前に集合する。
- ・控え選手の試合中のアップはボール使用不可とし、試合中の両チーム選手と異色のビブスを着用し、 本部と逆側のベンチ横スペースを利用する。